訪問看護ステーション仁風荘 運営規程

(事業の目的)

第1条 医療法人養和会が開設する訪問看護ステーション仁風荘（以下、「ステーション」）は、要介護状態または要支援状態にある高齢者や病気や怪我等により在宅療養を必要とする者に対し、介護保険法による指定居宅サービス事業者または健康保険法による指定訪問看護事業者として、適切な事業運営を行うため、介護保険法に基づく指定訪問看護（以下「介護保険指定訪問看護」）及び健康保険法に基づく指定訪問看護（以下「健康保険指定訪問看護」また、介護保険指定訪問看護と健康保険指定訪問看護を総称し、「指定訪問看護」という）の実施について必要な事項を定める。

(運営の方針)

- 第2条 指定訪問看護の提供に当たって、ステーションの看護職員等は、要介護者の心身の特性を踏まえて、全体的な日常生活動作の維持、回復を図るとともに、生活の質の確保を重視した在宅療養が継続できるように支援する。
- 2 要支援状態の利用者に対する指定訪問看護の提供に当たって、ステーションの看護職員等は、要支援者が可能な限りその居宅において、自立した日常生活を営むことができるよう、その療養生活を支援するとともに、利用者の心身の機能の維持回復を図り、もって利用者の生活機能の維持又は向上を目指すものとする。
 - 3 指定定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所と連携して、定期的な巡回訪問や随時の通報を受けて指定訪問看護を提供する。
 - 4 事業の実施に当たっては、関係市町村、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。
 - 5 地域連携ネットワークへ参加し、他の参加医療機関等からの照会に応じるとともに、医師等への意見・助言を求め、連携を図るものとする。

(事業所の名称等)

第3条 事業を行う事業所の名称及び所在地は、次のとおりとする。

- 2 名称 訪問看護ステーション仁風荘
- 3 所在地 鳥取県米子市彦名町 964-1

(職員の職種、員数及び職務の内容)

第4条 ステーションに勤務する職種、員数及び職務内容は次のとおりとする。

職種	資格	常勤専従	常勤兼務	非常勤専従	非常勤兼務	備考
管理者	経験のある看護師	—	1名	—	—	看護職員と兼務
看護職員	看護師 准看護師	常勤 2.5名以上				常勤兼務の者は管理者と兼務
リハビリ職員	理学療法士 作業療法士 言語聴覚士	1名以上				

- 2 管理者は、ステーションの従業者の管理及び事業の利用申込みに係る調整、業務の実施状況の把握その他の管理を一元的に行うとともに自らも事業の提供に当たる。
- 3 看護職員およびリハビリ職員は、訪問看護計画書及び訪問看護報告書（介護予防訪問看護計画書及び訪問看護報告書を含む）を作成し、事業の提供に当たる。

(営業日及び営業時間)

第5条 ステーションの営業日及び営業時間は、次のとおりとする。

- (1) 営業日 365日営業（祝祭日も営業）
- (2) 営業時間 午前8時30分から午後5時30分までとする。

(3) 電話等により、24 時間常時連絡が可能な体制とする。

(事業の内容)

第 6 条 事業の内容は、以下のとおりとする。

- (1) 病状・障害の観察
- (2) 清拭・洗髪等による清潔の保持
- (3) 食事及び排泄等、日常生活の世話
- (4) 褥瘡の予防・処置
- (5) リハビリテーション
- (6) ターミナルケア
- (7) 認知症患者の看護
- (8) 療養生活や介護方法の指導
- (9) カテーテル等の管理
- (10) その他医師の指示による医療処置

(利用料等)

第 7 条 事業を提供した場合の利用料の額は、厚生労働大臣が定める基準によるものとし、当該事業が法定代理受領サービスであるときには、介護報酬告示上の額に各利用者の介護保険負担割合証に記載された負担割合を乗じた額とする。

(通常の事業の実施地域)

第 8 条 通常の事業の実施地域は、米子市、境港市、西伯郡区域とする。

(緊急時等における対応方法)

第 9 条 看護職員等は、訪問看護を実施中に利用者の病状に急変、その他の緊急事態が生じたときは、必要に応じて臨時応急の手当を行うとともに、速やかに主治の医師に連絡し、適切な処置を行うこととする。

(虐待防止のための対策)

第 10 条 ステーションは、利用者等の人権の擁護・虐待防止及び身体拘束等のために必要な措置を講じる。

- 2 従業者に対する虐待防止を啓発・普及するため指針の整備、委員会の開催、研修等を実施する。
- 3 サービス提供中に、従業者又は養護者（利用者の家族等高齢者を現に養護する者）による虐待を受けたと思われる利用者を発見した場合は、速やかに行政機関へ通報する。

(その他運営についての留意事項)

第 11 条 ステーションは、看護職員等の質的向上を図るための研修の機会を次のとおり設けるものとし、業務体制を整備する。

- (1) 採用時研修 採用後 6 ヶ月以内
- (2) 継続研修 年 1 回
- 2 従業者は業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を保持する。
- 3 従業者であった者に、業務上知り得た利用者又はその家族の秘密を保持させるため、従業者でなくなった後においてもこれらの秘密を保持すべき旨を、従業者との雇用契約の内容に含むものとする。
- 4 この規程に定める事項の他、運営に関する重要事項は医療法人養和会とステーションの管理者との協議に基づいて定めるものとする。

【附則】

この規程は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する

平成 15 年 8 月 23 日 改訂

平成 19 年 10 月 1 日 改訂

平成 26 年 1 月 30 日 改訂

平成 27 年 4 月 1 日 改訂

平成 28 年 6 月 21 日 改訂
令和元年 8 月 1 日 改訂
令和 5 年 12 月 20 日 改訂
令和 6 年 1 月 1 日 改訂
令和 6 年 6 月 1 日 改訂